

## 令和5年度、長野高校定時制、スタート！

例年よりも早く桜が開花し、花びらが流れ始める中、新年度が始まりました。

長野高校定時制も、6人の新入生を迎え、24人で新たな学校生活のスタートを切りました。

ここ数年、新入生は、新型コロナウイルスの影響下で、新しい友だちの顔も確認できないまま、高校生活を始めていました。しかし今年は、マスクの着脱が個人の判断に任され、入学式においても、多くの新入生がマスクをはずして入場しました。

3年間に及ぶコロナ状況下での学校生活を余儀なくされてきた生徒たちにとっては、新年度の始まりであると同時に、新時代の始まりのように感じたかもしれません。

新型コロナウイルスは消えたわけではなく、対応を続けなければならない状況はまだ残りますが、場面場面で冷静に判断をしながら、これまでとは異なる新たな学校生活を楽しんでほしいと願っています。



## 輪になって、対面式

4月10日に、対面式が行われました。例年、入場してきた1年生が教壇の上に一列に並び、座席に座る上級生と向き合う形で進められてきましたが、今年は、1年生、上級生、先生たちが輪を作って椅子に座る形で行われました。式を計画した生徒会役員が、慣れない高校生活を送る1年生にとって、対面式が緊張を伴うものではなく、なるべくリラックスした場になるよう、考えてくれました。

誰もが全員の顔を見渡すことができる「輪」の対面式は、生徒会役員の、「新しい学校生活を、学年の垣根を越えて、みんなで作り上げていこう」という思いが、そのまま形になっているように感じました。

